

提案

札幌市資料館から近代美術館までの間に 札幌のチェルシー地区を創造する

現在、札幌市には大小合わせて約100の美術館・ギャラリーが、中央区を中心に点在していますが、一部の大規模な企画展を除いては、ギャラリーに足を運ぶ人は少ないと感じています。そこで、あらゆる人々にアートギャラリーに関心を持ってもらい、「アート」が札幌の産業のひとつになるために、ニューヨークにあるチェルシー地区のような、アートギャラリーが密集した地域を創造することを提案します。札幌の中心街で、一度にたくさんの斬新なアートを見て回ることができ、購入できる場をつくることで、アートに携わる全ての人々が豊になる。それが、延いては札幌の発展につながる、そんな場所です。



なぜこの企画を？

- もっとギャラリーで新しい本物のアートを気軽に自由に楽しむことができないか？
- アーティストが個展等で作品を発表する際、マネジメントしてくれる人が必要。
- 「アート」を生業として生計を立てることができない、アーティストへのバックアップ体制。
- アーティスト、キュレーターなどアートやマネジメントに関わる人々への適切、公正な評価の仕組みがない。

アート街イメージ

- 札幌市資料館から道立近代美術館までの間の地区
- 古い一軒家やビル1棟まるまる利用
- 企画展示型ギャラリー
- 先進的で斬新な感覚に触れられる
- 気軽に入りやすい雰囲気



アート街ができると…

